



(写真) Shutterstock “マドゥロ政権による大統領選のメディア統制・報道規制に警戒感高まる”

## 2024年7月22日(月曜)

### 政治

「[7月22日～23日 選挙キャンペーンの様子～MCM氏・ゴンサレス候補 スリア州で演説～](#)」

「[マドゥロ政権 メディア制限を強化か～現地メディア閲覧制限、報道関係者の規制～](#)」

「[MCM 与党関係者との政権移行協議に言及](#)」

### 経済

「[南米の最低賃金ランキング ベネズエラ最下位](#)」

「[Laser 航空 カラカス～マドリッド路線を増便](#)」

### 社会

「[パリオリンピック ベネズエラ32名が出場](#)」

## 2024年7月23日(火曜)

### 政治

「[野党 投票証人メンバーの認定遅延を批判](#)」

「[検察庁 野党関係者とされる3名に逮捕命令～穏健野党議員らに暴行と名誉棄損～](#)」

「[選挙戦最終日 与党カラカス、野党アプレ州](#)」

「[CNE 発表前に選挙結果に言及することは犯罪](#)」

「[ラウセオ候補 大統領選に出馬する理由](#)」

### 経済

「[経済専門家 選挙後のベネズエラ経済に懸念](#)」

### 社会

「[VPN業者 大統領選を前に無料サービス提供](#)」

2024年7月22日（月曜）

**政治**

 「7月22日～23日 選挙キャンペーンの様子  
～MCM氏・ゴンサレス候補 スリア州で演説～」

7月22日～23日のマドゥロ大統領とゴンサレス候補の選挙キャンペーンの活動内容を紹介したい。

7月22日 マドゥロ大統領は、日中にトゥルヒージョ州バレラ、タチラ州サンクリストバル、メリダ州エルビヒア、夜にラグアイラ州カティアラマルの選挙イベントを渡り歩いた。



(写真) 大統領府 “トゥルヒージョ州バレラ”



(写真) 大統領府 “ラグアイラ州カティアラマル”

7月23日 マドゥロ大統領は、高齢者を対象にした選挙イベントに出席。高齢者専用の食品セット「CLAP especial」を配布すると約束した。



その後、コヘーデス州サンカルロス、カラボボ州バレンシア、アラグア州マラカイを訪問。貧困層に住居を与える社会プログラム「ミシオン・ビビエンダ」により30万戸の住居を建設すると発表した。



(写真) 大統領府 “カラボボ州バレンシア”



(写真) 大統領府 “アラグア州マラカイ”

7月22日 野党陣営のマリア・コリナ・マチャド氏(以下 MCM) は、選挙イベントは実施せず、ソーシャルメディアにて投票を呼び掛けた。

また、MCM 氏は翌23日にスリア州マラカイボで行われる選挙イベントに参加するため移動する様子を投稿した。

途中、警察から道路の移動妨害を受けたようで、バイクに乗り換えるなどの問題もあったと主張マドゥロ政権による選挙妨害を批判している。



(写真) @ConVzlaComando

“ゴンサレス候補への投票の仕方を説明する MCM 氏”

翌7月23日 エドムンド・ゴンサレス候補は、飛行機でスリア州マラカイボに到着。マラカイボにてスリア州を拠点とする野党関係者らと協議を行った。



(写真) @ConVzlaComando

“マラカイボの空港に到着したゴンサレス候補”

その後、記者会見を実施。CNE による投票証人メンバーの承認が遅れていると訴えた(詳細は「野党 投票証人メンバーの認定遅延を批判」を参照)。

そして、同日 MCM 氏とゴンサレス候補は、夕方よりスリア州で選挙イベントに参加。大勢の支持者を前に投票を呼び掛けた。



(写真) @ConVzlaComando “スリア州マラカイボ”

## 「マドゥロ政権 メディア制限を強化か ～現地メディア閲覧制限、報道関係者の規制～」

マドゥロ政権は、ベネズエラの大統領選について、外国メディアが偏った報道をしていると指摘。マドゥロ大統領側の主張や選挙キャンペーンに関する報道が全くされていないと訴えている。

この流れの中で、マドゥロ政権がメディア報道を制限しているとの批判が多く散見されている。

7月22日 マドゥロ政権が、ベネズエラ系メディア「Tal Cual」「El Estímulo」「Medianálisis」「RunRun」の閲覧制限を掛けたと報じられている。

具体的には「Cantv」「Movistar」「Digitel」「Inter」「NetUno」でインターネット契約を結んでいるベネズエラ在住者の上記メディアの閲覧ができない状態になっていたという。



(写真) エウヘニオ・マルティネス氏 X

“CNE が発行する報道関係者の報道許可証”

## 「MCM 与党関係者との政権移行協議に言及」

7月22日 MCM氏は、CNNの取材の際「政権移行のために与党関係者と接触をしているか?」との質問を受け、以下の通り回答した。

「我々は様々なセクターから意見交換の要望を受けている」「我々が送るメッセージはいつも同じである」「我々は、迅速且つ平和的で調和のとれた政権移行を実現するため、全ての人に門戸を開いている」と言及。

「与党関係者に対して一定の譲歩を行う用意がある」とも補足した。

「[ウィークリーレポート No.365](#)」でも触れたが、マドゥロ大統領が選挙で敗北したことを認めるにあたり、軍部を筆頭に関係者の介入や抑止力が必要になる。

マドゥロ大統領の行動を軍部高官に抑制してもらうために、野党陣営は事前に何らかの調整を行う必要があるだろう。



(写真) @cnpven

また、イタリア人記者 Barbara Schiavulli氏は自身のソーシャルメディアにて、ベネズエラでの報道ビザ（大統領選を報道するためのビザ）を拒絶されたと訴えた。

Schiavulli氏によると、ビザ申請を行った際はポジティブな反応だったが、申請から2日後に報道ビザの発行を拒絶されたという。

他、政治専門家のエウヘニオ・マルティネス氏は、「選挙管理委員会（CNE）が報道関係者の許可証を発効した」と指摘。ただし、その数が非常に少ないと指摘している。

また、マルティネス氏によると、これまで許可証には顔写真が掲載されていたが、今回の許可証には顔写真が掲載されていないという。

## 経済

### 「南米の最低賃金 ベネズエラ最下位」

「国際通貨基金 (IMF)」は、ラテンアメリカ・カリブ海諸国の最低賃金リストを公表した。

ベネズエラの最低賃金は月額130ポリバル。ドルに換算すると同3.56ドルである。

同リストによると、ベネズエラは17カ国中17位。16位はアルゼンチンの月額162.71ドルで、圧倒的な最下位ということになる。

なお、ベネズエラは最低賃金ではなく、最低賃金に加えて法廷福利を含めた「包括最低収入」を用いることが多いが、現在の包括最低収入は、月額130ドルなので、引き続き17カ国中最下位ということになる。

なお、17カ国で最も最低賃金が高いのは、コスタリカで同675.43ドル、次いでウルグアイが同555.69ドル、チリが同531.89ドルと続いている。

Salarios mínimos de América Latina al iniciar julio de 2024

Pais	Salario julio 2024	% de incremento*	Salario julio 2024 en US\$
Argentina	ARS\$ 234.315,12	33,4%***	US\$ 162,71**
Bolivia	\$b 2.500	5,8%	US\$ 362,05
Brasil	R\$ 1.412	0,0%	US\$ 259,94
Chile	CLP\$ 500.000	8,6%	US\$ 531,89
Colombia	COP\$ 1.300.000	0,0%	US\$ 322,54
Costa Rica	CRC\$ 358.609,50	0,0%	US\$ 675,43
Ecuador	US\$ 460	0,0%	US\$ 460
El Salvador	US\$ 365	0,0%	US\$ 365
Guatemala	GTQ\$ 3.266	0,0%	US\$ 420,86
Honduras	HNL\$ 8.581	5,5%	US\$ 346,94
México	MXN\$ 7.468	0,0%	US\$ 416,22
Panamá	US\$ 341****	4,5%	US\$ 341
Paraguay	PYG\$ 2.798.309	4,4%	US\$ 371,76
Perú	S/ 1025	0,0%	US\$ 270
Rep. Dominicana	RD\$ 14.232*****	0,0%	US\$ 240,68
Uruguay	UYU\$ 22.268	0,0%	US\$ 555,69
Venezuela	Bs.\$ 130*****	0,0%	US\$ 3,56

Fuente: información oficial de cada país / Bloomberg Línea.  
 Tasa de cambio al 06/07/2024  
 \*Los países con variación 0,0% no realizaron cambios en lo que va del  
 incremento realizado entre enero y julio de 2024.  
 \*\*En Panamá existen varios tipos de salarios mínimos y el monto parte desde allí  
 \*\*\*Salario mínimo de las microempresas no sectorizadas  
 \*\*\*\*Salario mínimo sin indexaciones o bonos del gobierno.

### 「Laser 航空 カラカス→マドリッド路線を増便」

「Laser Airlines」は、カラカス→マドリッド路線を拡大すると発表した。

これまでカラカス→マドリッド便は、月曜・水曜・金曜の週3便(18時30分カラカス発、9時15分マドリッド着)だったが、新たに土曜日加わる。

また、マドリッド→カラカス便は、火曜・木曜・日曜の週3便(11時15分マドリッド発、14時50分カラカス着)だったが、こちらも新たに土曜日加わる。

チケット料金は時期によって異なるが、往復の669ドルから(手荷物10キロ、預け荷物23キロ2つ可)となっている。

## 社会

### 「パリオリンピック ベネズエラ32名が出場」

パリオリンピックに出場するベネズエラ人選手がフランスに到着している。

今回のオリンピック参加を勝ち取ったベネズエラ人選手は33名(ただし、三段跳び女子のユリマル・ロハス氏は怪我のため出場できず)。つまり、実質的には32名となるようだ。

この出場者数は、1992年の29名以来の少ない人数だという。

ベネズエラ人選手が参加するスポーツとしては陸上、射撃、競泳、ボクシング、自転車、レスリング、柔道、重量挙げ、フェンシング、馬術、テコンドーが挙げられる

(写真) IMF

2024年7月23日（火曜）

**政治**
**「野党 投票証人メンバーの認定遅延を訴え」**

7月23日 MCM氏およびエドモンド・ゴンサレス候補はスリア州訪問中に記者会見を実施。

CNEが「野党統一連合（MUD）」の指名した投票証人メンバーを承認していないと訴えた。

投票証人メンバーは、投票場で不正がないことを確認する役割を担っている。

ベネズエラの投票システムは電子投票だが、電子投票に不正がないかどうかを確認するために、投票時に発行されるレシートのような紙（投票箱に入れられる）の数と投票機にシステム上カウントされている投票数に齟齬ないかを確認する。

この投票証人メンバーは、選挙に参加している政党が人員を指名することが出来、MUDは全ての証人メンバーを決定したと発表していたが、現時点ではCNEが承認を出していないようだ。



(写真) @ConVzlaComando

**「検察庁 野党関係者とされる3名に逮捕命令  
～穏健野党議員らに暴行と名誉棄損～」**

タレク・ウィリアム・サブ検事総長は、Anthony Vega氏を逮捕。また、John Álvarez氏、Eleyne Echarry氏の2名に指名手配を掛けたと発表した。

サブ検事総長によると、この3名はMCM氏を党首とする政党「Vente Venezuela」の関係者で、Inacio Da Costa氏とAdrianlis Gil氏へ暴力をふるったという。

Inacio Da Costa氏は穏健野党「Cambiamos」の党員で2020年に発足した与党多数派国会で野党議員として活動している。

Inacio Da Costa氏によると、7月19日に「ベネズエラ中央大学（UCV）」の駐車場でAnthony Vega氏から瓶で複数回殴打され負傷した。また、Anthony Vega氏はInacio Da Costa氏に対して「裏切り者」と誹謗中傷し、殺害の脅迫をしたという。

その後、検察庁の捜査の結果John Álvarez氏、Eleyne Echarry氏も事件に関与していると判断。両名に指名手配を掛けたという。



(写真) 検察庁

**「選挙戦最終日 与党カラカス、野党アプレ州」**

7月25日（木）はベネズエラの大統領選キャンペーンの最終日。25日以降の選挙活動は原則禁止となる。

与党「ベネズエラ社会主義統一党（PSUV）」が推薦するマドゥロ大統領は最終日にカラカス全土を占拠すると発表。大規模な選挙イベントを予定しているようだ。

筆者の理解では、「野党統一連合（MUD）」も最終日はカラカスで選挙イベントを実施する予定だったが、今回の与党の発表を受けて場所を変えたと思われる。

7月23日 MCM氏は、アプレ州で大規模な選挙イベント「El Apuñerazo」を実施すると発表した。

アプレ州はベネズエラでは地方の州であり、人口も少なく重要度の低い州と思われる。

首都カラカスでの選挙イベントがだめでも、スリア州、ミランダ州、ララ州、カラボボ州、アンソアテギ州など他にも選択肢がある中、このアプレ州で選挙キャンペーンの最終日にイベントを行うのは意外な印象を受ける。

**「CNE 発表前に選挙結果に言及することは犯罪」**

7月24日 タレク・ウィリアム・サアブ検事総長は、「CNE がベネズエラで唯一の選挙結果を発表できる団体」「7月28日の大統領選の結果について、CNE の発表前に言及する行為は犯罪にあたる」「7月28日の24時間、我々はこの犯罪に目を光らせる」とコメント。

公式な発表前に選挙結果について見解を示すことを禁止した。

これはメディアだけではなく、一般人も対象にした発言であり、不用意なソーシャルメディアでのコメントは逮捕理由になる可能性がある。

**「ラウセオ候補 大統領選に出馬する理由」**

大統領選はマドゥロ大統領とゴンサレス候補の動向に注目が集まっているが、今回の大統領選の出馬者は10名。マドゥロ大統領とゴンサレス候補以外に8名の候補者が存在する。

この8名が選挙で当選する可能性は限りなくゼロに近いが、仮にマドゥロ大統領とゴンサレス候補の得票数が拮抗した場合、残りの8名の得票数が選挙結果を左右する可能性もある。

8名の候補者の中で、最も支持を集めているのは「Conde」から出馬したベンジャミン・ラウセオ候補だろう。

ラウセオ候補は、独立野党系の候補者であり、基本的にゴンサレス候補の票を奪う存在になるため、一部の野党関係者からは「マドゥロ大統領に塩を送る行為」と非難を受けている。

ラウセオ候補はインタビュー番組に出演し、これらの批判について「最も重要なことは複数の候補が選挙に出馬することである」「有権者は自身の思想を反映する候補者に投票する権利がある」と自身の出馬を擁護した。

## 経 済

## 「経済専門家 選挙後のベネズエラ経済に懸念」

ベネズエラ人経済学者ルイス・オリベロス氏は、ラジオ番組に出演。2024年後期のベネズエラ経済について「為替レートのポリバル安が再び進行し、インフレ再発」「大統領選後の協議で経済が混乱する恐れがある」との懸念を示した。

たしかに現在マドゥロ政権は、為替レートを安定させインフレをコントロールしているが、大統領選を前に経済安定をアピールするために外貨を積極的に両替市場に投入するなど無理をしている印象はある。

大統領選が終われば、マドゥロ政権としてはとりあえずひと段落ということになり、インフレをコントロールするインセンティブが弱くなる。

また、大統領選がどのような結果になるかは分からないが、どちらが当選したとしても混乱が生じる懸念がある。この混乱により経済に悪影響が出る可能性はあるだろう。

## 社 会

## 「VPN業者 大統領選を前に無料サービス提供」

本稿「マドゥロ政権 メディア制限を強化か」の通り、マドゥロ政権がメディアの制限を行っている。

マドゥロ政権によるウェブメディアの閲覧制限の対応策としてVPN接続が考えられる。

VPNサービスを提供する「Proton VPN」は、7月28日の大統領選のために無料でVPNサービスを提供すると発表した。

Proton VPNは、自社のソーシャルメディアアカウントにて「投票を前に、我々は情報統制を受けている全ての人に対して、正確な情報にアクセスすることを保証する」と投稿している。

Proton VPNの他に「Tunnel Bear」「Psiphon Pro」も大統領選を前に無料でVPNサービスを提供するようだ。

以上